【令和４年９月７日　飛行幹部候補生課程入校式　祝辞】

祝　　辞

本日，ここ海上自衛隊　第１術科学校　大講堂において，第七十五期 飛行幹部候補生課程の入校式が，厳粛に挙行されるに当たり，地元，江田島市民を代表して，お祝いの御挨拶を申し上げます。

皆様は，この輝かしい歴史と伝統を誇る幹部候補生学校にめでたく入校され，本日より，練成訓練を受けることとなりました。我が国の国防の要を担う，皆様のような若者をお迎えできることは，地元江田島市としても大きな喜びであり，心より歓迎を申し上げます。

さて，世界情勢に目を向けますと，ロシアによるウクライナ侵攻は未だ終わりが見えず，わが国周辺においては，台湾をめぐる緊張感が一気に高まっております。武力を背景に，国際秩序を乱す動きにより，私達が望む世界の平和と安定が損なわれる事態を危惧しております。

このような中，航空部隊の皆様には，常時，大変な緊張感のもと，日本国の主権をおびやかす諸国の航空機や艦艇に対して，冷静に海洋哨戒を実施され，我が国の主権と平和の維持に貢献していただいており，皆様に対する，国民の注目も大きなものになっております。

本日御入校の皆様，将来の飛行幹部として，強い責任感と確固たる使命感をもって，ここ江田島の地で己を磨き，国民の負託に対し，十分に応え得る技量を身につけていただくことを，期待しております。

皆様，御存知のとおり，ここ江田島市は，今から百三十四年前，明治二十一年，海軍兵学校が東京築地から移転し，その後，昭和三十一年に海上自衛隊をお迎えし現在に至る六十六年間，共存共栄・一体不可分の関係，少し柔らかい表現で言えば，相思相愛の関係を築き，皆様との縁や絆を大切に育んできた地でございます。

また，四季折々の美しい自然に囲まれ，秀峰古鷹を望む風光明媚な瀬戸の島として親しまれております。

皆様，厳しい訓練の合間には，人情に触れ，自然に触れ，島の魅力を存分に楽しんでいただき，これまで先人たちが築いてきた江田島市との縁や絆を深めながら，思い出深い学生生活を送っていただきたいと思います。

そして，ここ江田島市での皆様の生活が，実りある，充実したものになることを，強く願っております。

結びになります。日本国の繁栄，海上自衛隊の益々の御隆盛，御発展，そして御入校される皆様，御臨席の全ての皆様の，御健勝と更なる御活躍を，心よりお祈り申し上げ，お祝いの言葉とさせていただきます。

令和四年九月七日

江田島市長　　明　岳　周　作